

# 令和5年度 学校評価書



**多摩市立和田中学校**

令和5年度 多摩市立 和田中学校 学校評価書

学校教育目標	
1 じょうぶな体をもった生徒 2 深く考え、すすんで実践する生徒（重点目標） 3 感受性豊かな生徒 <span style="float: right;">の育成</span>	
目指す学校像（学校経営ビジョン）	
1 生徒・教職員・保護者・地域を元気で笑顔にする学校 2 自分の好き(すき)に手(て)を入れて素敵(すてき)なことを創造する学校	
目指す子供像	目指す教師像
1 学習や社会規範をはじめ、他者の意見や考えに素直に耳を傾け、知識を深める生徒（聞く力） 2 知り得た知識について深く考え、正しく判断して自分のものとする生徒（考える力） 3 自分の意見や考えを正しく発信するとともに、自ら進んで行動する生徒（表現する力）	1 すべての命と心が光り輝く学校を目指す教師 2 「温かく甘くない」「厳しく冷たくない」「親切丁寧」「1対1を人数分」「誰をも応援する」ことを実践する教師 3 誰一人取り残さない精神で、他者の思いを受け止め、自分の価値観を押し付けない、自己決定できる多様性を重んじる教師 4 「学び合う」「支え合う」「話し合う」「高め合う」「協力し合う」「競い合う」「分かち合う」ことを生徒とともに実践する教師（良好な学習団づくり）

【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90%以上～100%	A	適切である
3	おおむね達成した	70%以上～90%未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40%以上～70%未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40%未満	D	評価は困難である

I 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1) 確かな学力の育成

重点目標	・「何を学ぶのか」「何ができるようになるのか」を重視し、本時の目標と振り返りの充実 ・学びの多様化・個別最適化の充実（デジタル化・グループワーク・思考ツールなど）			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
学力の定着に対する指標① 学力調査において 都平均以上を目標とする	2	3年全国学力調査 国語-3P、数学-5P、英語-3P。本時の目標を明確に提示し、ICT機器を効果的に用いたりグループ学習で考えを共有する活動を取り入れたりして学力向上を目指してきた。	B	・タブレットを活用する等、授業の改革は進んでいると感じる。 ・ESD については、評価項目の指標が適していなかったようだ。教員・生徒共にESD の考えを学ぶことが必要である。 ・「適量の家庭学習」と「特色ある活動」について、生徒・保護者・教員の意識の差が気になる。
分かり易い授業に対する指標② 生徒アンケートの肯定的評価が85%以上を目標とする	3	全生徒 89.6%の肯定的評価の回答(3年生 93.6%)。生徒の実態を基に授業を工夫してきた結果である。	B	
ESD 教育の推進に対する指標③ 生徒保護者アンケートの肯定的評価が85%以上を目標とする	4	全生徒 91.5%、保護者 94.5%の肯定的評価の回答。総合的な学習以外に、各教科や行事の取組の中で考える機会をもった。	A	
評価のまとめ	全国学力調査の数値結果は今年度の本校の最大の課題となって浮き出た。生徒一人一人に自覚をもたせ、教師は学びの本質を捉え、実態を把握した授業づくりを進める必要がある。また、各教科やESDを通して社会の様々な課題を自分事と捉えさせ、それを基にSDGs 具現化の学習を日常化することが大切である。			

## (2) 豊かな心の育成

重点目標	良好な学習集団づくりにより『居場所づくり』『絆づくり』を実現し、「いじめ防止」「不登校未然防止」を推進する。 ・「学び合う」「支え合う」「話し合う」「高め合う」「協力し合う」「競い合う」「分かち合う」学習集団づくり ・多様性の理解と実践			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
学び合い・支え合いなどの生徒の協働に対する指標① 生徒保護者アンケートの肯定的評価が85%以上を目標とする	3	生徒 90.2%,保護者 80.4%の肯定的評価の回答。生徒・保護者共に、学年が上がるほど肯定的回答が多い。積み重ねにより、協働活動についての意識も実感も高まったと考えられる。	B	・学校として状況を良くしていく姿勢がある。 ・不安を抱いている生徒へのケア等のアプローチも必要である。
学校に行くのが楽しい② 生徒保護者アンケートの肯定的評価が85%以上を目標とする	3	生徒 85.8%,保護者 88.6%の校庭気評価の回答。生徒・保護者共に、学年が上がるほど肯定的回答が多い。時間をかけて生徒と教師の関係を深めたり学習の成果が出たりしたことが楽しさにつながっていると考える。	B	
多様性の理解に対する指標③ 学校生活諸問題の対応の中で形成的評価を行う	3	「ふれあい月間」での取り組みをはじめ、ことあるごとに他者の見方や捉え方が意識できるよう指導や支援を行っている。	B	
評価のまとめ	多様性の理解の推進が今後も課題である。全体的な視点に加え、個々の生徒の特性を的確に把握し支援する。また、生徒同士が互いに理解し合えるような教育活動を日常から展開していく。			

## (3) 健やかな体の育成

重点目標	・体力の向上の土台となる健康教育の充実 ・運動習慣定着を目指し、体力の向上を図る			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
体育授業・部活動等の充実に対する指標① 体力調査において都平均以上を目標とする	3	男子は都とほぼ同程度かやや上回り、女子は都をやや上回った。課題のある要素について、体育授業で日常から実践させていく。	A	・以前に比べ、よい傾向は高まっているようだ。
健康教育の充実に対する指標② 生徒保護者アンケートの肯定的評価が85%以上を目標とする	4	生徒 96.4%,保護者 95.0%の肯定的評価の回答。薬物乱用防止教室やセーフティ教室をはじめ、日常の道徳科学習や保健の学習、安全指導等の内容が生徒の意識として定着している。	A	
体力の向上に対する指標③ 生徒アンケートでの肯定的評価85%以上を目標とし体力調査においては都平均以上を目標とする	4	生徒 91.3%の肯定的評価の回答。体力向上の意識は高く、実感している生徒も多い。運動と健康への意識の日常化を継続させていく。	A	
評価のまとめ	体力面では都平均と同程度かやや上回る結果であったが、筋力・敏捷性・跳躍力には全体的に見ると低い。バランスのとれた体力づくりと健康の保持増進については、継続して指導すると効果が出ると考えられる。			

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携強化による健全育成の推進</li> <li>・学校地域協働体制の推進</li> </ul>			
評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
<b>「情報発信」に対する指標①</b> 保護者地域アンケートにおいて肯定的評価が85%以上を目標とする	4	保護者 97.3%の肯定的評価の回答。日々更新されるHPへの評価が高い。また、スクールキャストでのお知らせも適時行うことができている。	A	・学校だよりやホームページで、発信の意図がよく伝わる。 ・外部人材の活用については、実施の少ない学年に機会が増えるとよい。 ・コミュニティ・スクールの取組がよく伝わっているとは言えないが、学校運営協議会の活動を通して徐々に伝わっていくだろう。
<b>コミュニティ・スクール(CS)としての体制づくりに対する指標②</b> 保護者地域アンケートにおいて肯定的評価が85%以上を目標とする	2	保護者 63.0%の肯定的評価の回答。学校運営協議会だよりの発行、青少協活動への生徒参加を学校だより等で価値付けること、地域人材の活用に取り組んできた。	B	
<b>外部人材を活用した教育活動の推進に対する指標③</b> 保護者地域アンケートにおいて肯定的評価が85%以上を目標とする	3	保護者 84.5%の肯定的評価の回答。様々な機会を捉えて外部人材を活用し、授業や行事において指導・支援に携わってもらっている。	A	
評価のまとめ	2月中旬で HP アクセス数 50 万件を超え、積極的な情報発信は保護者・地域にも高評価を受けた。CS に関しては、今年度学校運営協議会の回数を増やし、学校から具体的な動きを提示したり委員の意見把握に努めたりしてきた。このことについても、機会あるごとに発信していく。			

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等

生徒が楽しみをもって登校し、「自己の成長する力や成長を実感する」ことを実現するために、和田中の教育活動において、「支援する」ことを重要視していく。そのためには、教科指導、生活指導、進路指導、部活動それぞれの場面で生徒一人一人の特性に合った対応を継続させる。

「良好な学習集団」の形成を図り、その中で互いの理解を深め、いじめや不登校を起こさない風土を創るために「多様性の理解の促進」を今年度同様重点的に行う。

保護者や地域と共に歩む学校として、引き続き HP など学校情報を発信し、和田中に関心をもっていただく。また、PTAや青少協行事との連携を今年度以上に強化していく。

以上のとおり報告いたします。

令和6年2月13日

多摩市立和田中学校 校長

生田目 将



公印